森林環境譲与税に関する市町村の令和３年度の決算状況調査（調査表）

(1)団体コード	(2)都道府県名	(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(6)事業総額（千円）				(7)事業内容	(8)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業	(9)実績																				(10)税導入の効果
											森林整備関係								人材育成・担い手確保対策				普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用					
											森林所有者への意向確認		間伐等実施面積			路網整備				（コ）事業体等への助成		（サ）研修、講習、求人イベント等		（シ）その他	（ス）研修や普及啓発イベント等		（セ）その他	（ソ）公共施設等の木材利用			（タ）その他	（チ）その他	
					(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）	(C)「(A)うち森林環境譲与税」のうち、令和４年度への繰越（千円）			（ア）森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	（イ）アンケート等による意向確認実施面積(ha)	（ウ）間伐(ha)	（エ）除伐(ha)	（オ）その他（作業種、実績値を記載）	（カ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（キ）森林作業道の開設延長(m)	（ク）その他（作業種、実績値を記載）	（ケ）その他	事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者数・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
014532	北海道	東神楽町	⑦ その他（森林整備）	林業振興事業	46	46			上川森林認証協議会（SGEC認証）の負担金。 この協議会は森林資源の有効活用と、生物多様性の保全を両立させた持続可能な森林の管理と経営を目的として、森林管理（ＦＭ）、加工・流通（ＣＯＣ）の両認証制度に取り組む。														森林認証取得面積 17.94ha										【ワンフレーズ】 税活用により ①森林GIS活用で森林資源の現況把握が容易になり、正確さが増した。 ②森林認証によって持続可能な森林の管理と経営につながった。 ③将来の森林施業を担う人材育成につながった。 ④国・道の補助対象とならない事業に助成することで、森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。
014532	北海道	東神楽町	⑦ その他（森林整備）	林業振興事業	10	10			北海道林業・木材産業人材育成支援協議会賛助金（北の森づくり専門学院負担金） この協議会は道内の林業・木材産業関連団体が主体となって協議会を設立し、企業や市町村等に賛助を呼びかけ、賛助金等により基金を創設し、 北の森づくり専門学院生の就学支援など本道の林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援に取り組むことを目的としている。														北の森づくり専門学院負担金										【詳細】 ①森林の基本情報をデジタル化しGIS上で利用できるようにすることで、森林の現状を迅速かつ正確に把握し、様々な関連業務の効率化ができた。 ②上川管内の森林・林業発展のために、持続可能な地域発展を期して、協定を結んだ市町村と森林所有者が共同して、地域森林の持続可能な管理経営を図っている。 ③北海道の豊かな生態系をはぐくむ森林を守り育て将来の世代に引き継いでいく、百年先を見据えた森林づくりを推進するという理念のもと、林業・木材産業の幅広い知識と確かな技術を身に付け、企業等の中核を担う地域に根差した人材の育成を図っている。 ④国・道の補助対象とならない事業に本税を活用し、健全な森林の育成を推進することに取り組んでいる。
014532	北海道	東神楽町	③ 私有林整備	林業振興事業	15	15			私有林の保育・枝打ちへの補助						補植した苗木の見出しつけ　1.94ha																	
014532	北海道	東神楽町	⑦ その他（森林整備）	林業振興事業	81	81			森林計画で利用する森林GISの林班図及び森林資源マスタデータの更新並びに保守費用																					町内の対象森林面積およそ1400haのデータ更新	残額は令和5年度竣工予定の複合施設建設事業の一部木質化に使用するため、森林環境整備基金として積み立てた。